

福祉業（社会福祉事業）

高齢者福祉を中心に多角的な福祉サービスを提供。特別養護老人ホームを主体とし、ショートステイサービス、デイサービスセンター、居宅介護支援センター、在宅介護支援センターなどを運営。

補助事業名	さいたま市DX推進補助金	実施時期	令和4年度
申請テーマ	クラウド型安全運転管理者支援システム「BSS for ALC」の導入補助		

多角的な福祉サービス展開と業務効率化への挑戦

同法人は、特別養護老人ホームを中心に、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援など、包括的な介護サービスを展開している。地域に開かれた福祉文化の拠点として、信頼・希望・愛に満たされた「憩いの我が家」という基本理念のもと、利用者満足の福祉介護サービスを提供している。多角的な事業展開により、幅広い社会のニーズに応える体制を整えているものの、介護職員の安定的確保や多職種が混在する組織運営に課題を抱えていた。

さいたま市産業創造財団との関わりは、令和4年4月頃に届いた補助金案内がきっかけとなった。当時、アルコールチェックの義務化が法改正で決まり、業務運用方法を模索していたタイミングと重なったことから、補助金活用の検討を開始したのである。同法人にとって初めての補助金申請であったが、財団のサポートにより円滑な申請手続きを完了することができた。

複雑化する車両管理業務の効率化に向けて

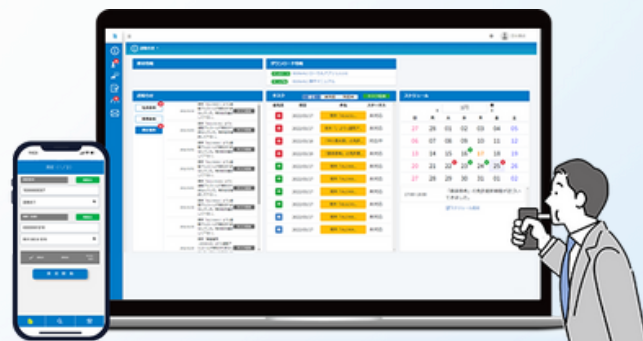
事業所車両及び職員の自家用車両を含む25台の車両管理において、車検管理、整備状況管理、使用状況管理、運転免許証更新状況管理など、多岐にわたる管理業務が存在していた。これらの業務は紙での管理とExcelデータでの管理が混在し、実務上のヒューマンエラーや確認漏れが頻発していた。特に2拠点間での管理業務では、担当者変更時の引継ぎや教育に時間を要していた。さらに、アルコールチェックの義務化に伴い、LINE WORKSを利用した暫定的な管理も追加され、車両管理業務の管理ツールが増加する状況となっていた。

課題解決のため、クラウド型安全運転管理者支援システム「BSS for ALC」を導入することとなった。このシステムは、アルコールチェックをはじめ、運転者台帳・車両台帳として利用可能なクラウドシステムである。リコージャパン株式会社および株式会社デンソーソリューションによる導入支援を受け、2022年7月上旬より運用を開始した。システムの導入により、従来Excelや紙で分散していた安全運転管理者の業務が一元管理可能となり、アルコールチェック記録業務等の自動化が実現した。

デジタル化がもたらした業務効率化の成果

システム導入後、アルコールチェックの完全なクラウド管理が可能となり、免許証更新管理や車両の車検証更新管理もシステム化されたことで、更新管理業務が飛躍的に効率化された。従来、職員全体の業務時間として月平均10～15時間程度、年間120～180時間程度を要していた管理業務が、導入後は月平均5～10時間程度、年間60～120時間程度にまで削減された。人件費に換算すると年間約10万円の削減効果があったという。また、拠点間の管理においても、管理方法が簡素化され、サテライトオフィスでの管理がほぼ不要となった。

次のステップとして、車両通勤をしている職員の免許証更新や車検証更新管理の導入を検討しており、さらなる管理業務の効率化が期待されている。現在、法人内ではIT化推進の必要性を認識し、ICT化の委員会を立ち上げているが、ITツールの整理が進んでおらず、IT活用の優先順位が明確になっていない状況だ。今後は他の社会福祉法人のICT導入事例を参考にしながら、どの業務プロセスを改善すべきかを明確にしていく方針である。特に業務プロセスの改善に成功した法人の具体的な事例を知ること、導入効果のイメージを持ちやすくなり、現場の職員への説明や導入推進もスムーズになると期待されている。



Company Data

- ・ 理事長：九里 秀一郎
- ・ 所在地：埼玉県さいたま市緑区
- ・ 従業員数：67名
- ・ 設立年月日：1998年1月19日
- ・ URL：<https://smile-house.or.jp/>